

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 006	提案機関名 畜産課
要望問題名 畜産現場における臭気評価方法の検討について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 平成26年度から、県事業として「畜産経営臭気発生源調査研究」により新たな臭気評価方法についての取組みが実施され、特に、畜産現場においては、畜種の中でも養豚が最も臭気問題が発生しやすいこともあり、養豚に対する検討が進められている。 しかしながら、県内においては、他の畜種（酪農や養鶏等）も臭気問題を抱えている地域もあるため、養豚だけでなく、他の畜種についても同様の検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 本県で畜産経営を継続するためには、臭気対策が必要不可欠であり、どの畜種においても悪臭を発生させる可能性があります。しかし、臭気対策と言っても畜種毎に悪臭の質が異なることから、その質に合わせた悪臭対策を講じる必要があります。 現在豚ふん由来の悪臭成分の検索を実施し、豚ふん特有の悪臭成分の提示及びその悪臭を再現した基準臭作りを進めております。本研究手法が、豚ふん以外の家畜ふんでも同様に適用できるか今後予算措置を含め検討してまいります。			
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			